第3回 鶴崎神社フォトコンテスト【大賞】

倉敷市高須賀 安原四郎　撮影

つるさき

発行所
鶴崎神社
早島町早島2220
〒701-0304
TEL FAX 482-0097
URL www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

昨年の秋祭りに三回目となる恒例の「鶴崎神社フォトコンテスト」が開催された。氏子内外から特殊神事の供膳祭や神幸祭の楽しい 真が寄せられ、審査の結 、秋祭り当日の供膳祭で、総代・幹事さんの手により、神饌が神前にお供えされる風景を捉えた安原氏の作品が見事大賞に選ばれた。神幸祭の作品が多い中、供膳祭を題材に選び、祭典の荘厳さが伝わって来るような作品である。

入賞者は十二月十五日神前で入賞奉告祭に参列し、楯と記念品がそれぞれ手渡され、お互いの健闘を讃え合った。

今年も第四回目として開催致しますで多数の応募をお待ちしております。（応募方法は四 にあります）

入賞者は左記のり。

大賞
倉敷市高須賀　安原四郎

入選
岡山市内尾　山下忠彦
早島町早島　林　作治

神道Q&A

【質問】

神社や神棚に張る注連縄（しめなわ）はどのように張ればよいのでしょうか？

【答え】

注連縄は七五三縄とも記し、神前又は神聖、清浄な場所を標すために引き渡し又は張り廻らす縄のことを指します。

起源は古事記の神代巻天石屋戸の段に見える尻久米縄（シリクメナワ）から伝わったとされます。

材料はワラを使用しますが稀にマコモを使用する地方もあります。常は左縄に綯い、所々にワラの端（サガリ）を垂れます。そのサガリのワラの数は注連縄の長さによって七・五・三の何れかの数にします。

また、紙垂（シデ）はサガリの間に付けます。その数はサガリ三の場合二垂れ、サガリ五の場合四垂れ、サガリ七の場合八垂れとします。

張り方は神社や神棚などの一に張る場合は「本と末」の考えから綯い始めを左。即ち神様から見て左、神前に向かって右にします。

左から始めるのは、地球の自転や竜巻は全て左に回っているというような自然の摂理によるものです。従って神社での上は神様から見て中央、左、右の順番になっています。

しかし、一部の神社（出雲大社等）では一社の故実により本（綯い始め）を右（神様から見て右）にする神社もあります。

四方に張る場合は東北（丑寅）の隅から始めて東南・西南・西北・北を経て再び東北で結びます。

北東から始めるのは丑寅の寅は演（エン）で春になって始めて、地上に新芽を出すこと。即ち万物の始めになります。

丑は紐（チュウ）で結び終わること。即ち万物の終わりになることから張り方が決まっています。

秋まつりの予定

供膳祭　10月18日（土）　午前10時～

総代、幹事により30台の特殊神饌を神前にお供えします。夕方には夜店がたくさん出ます。

神幸祭　10月19日（日）午前9時～午後2時30分

午前8時の花火により執行の合図とします。午前9時の花火の合図と共に神幸行列が神社を出発します。

各御旅所を巡幸して2時30分頃に神社へ還御されますので、沿道に出て神輿を奉拝下さい。

はやしま鬼まつり

「早島へ鬼を呼び戻そう！」を合い言葉に第一回「はやしま鬼まつり」が開催される。

当社は創建当初、吉備津神社本殿両端に祀ってある丑寅御崎大明神（ウラ）の名称から御崎宮と称されていた。

温羅（ウラ）＝鬼であるため秋祭には沢山の鬼が出て賑わっていた。

その早島のシンボルである鬼を現代的に呼び戻そうと企画されたのが「はやしま鬼まつり」である。

一、日　時

平成十六年二月八日（日曜日）

二、場　所

中央公民館・ゆるびの舎・児童館・鶴崎神社

三、内　容

鬼の絵書き・鬼面作り・折り紙鬼の展示・鬼コンテスト・飲食の出店等

「七五三」祈祷

七五三は子供の無事な発育を喜び、なお一層の成長を願って、その年の子が氏神さまに詣でる行事です。

古来は男女三歳で髪置きの祝い、男児五歳で袴着の祝い、女児七歳で帯解きの祝いを行ったことに由来します。

当社では十一月十五日を中心に七五三祈祷を奉仕致します。

十一月十五・十六日以外に御祈祷希望の方は前もってご予約下さい。

境内でジャズコンサート

リトモ・デ・コラ

去る九月五日午後七時三十分から「リトモ・デ・コラ」のメンバー八名によるジャズコンサートとボビー君の紙芝居が開催された。

早島銀座アート展（九月二日～七日開催）早島銀座実行委員会主催の一環で行われたもので、夕闇迫る中境内の特設ステージ周辺に「さをり織り」や絵のアートを展示してライトアップを行い、メンバー得意のジャズが数曲演奏された。

集まった約一〇〇名の観客はいつもとは変わった神社の森でのコンサートに盛んな拍手を送った。

また、境内ではイタリア料理の「ラルゴ」が出店し、会場の雰囲気を盛り上げた。

（第4回）鶴　崎　神　社
フォトコンテスト

入選作品は正月拝殿に展示致しますので、楽しい 真の応募を待っています。

【応募規定】

①題　材　秋季大祭（供膳祭）10/18・神幸祭 10/19の風景

②サイズ　２Ｌ（キャビネ版）～４つ切り（ワイド）。
デジカメの画像も可。

③締　切　平成１５年１０月末日

④応募先　鶴崎神社
（応募者の住所・氏名・電話番号を 真に添付すること。デジカメの画像の場合はＥメールに画像を添付して下記に送付下さい。）

turusaki@plum.ocn.ne.jp

⑤賞　◆大賞　１点　（楯・賞品）
◆入選　数点　（楯・賞品）

【応募上の注意】

◇応募枚数は１人３枚まで。
◇入賞した作品についてはネガまたはポジを提出していただきます。
◇原則として応募作品は返却致しません。
◇応募 真の版権及び著作権は、主催者に帰属するものとします。

総代の異動

平成１５年７月１日付けで無津地区の総代に異動がありました。

退　任　林　佳　孝
都窪郡早島町早島616-70
就　任　田　口　嘉　宜
都窪郡早島町早島987
電話　483-1328

奉納品
拝殿に上敷奉納

拝殿の畳が長年の使用により汚れや傷みがありましたが、夏祭に間に合うようにと当社の総代でもある株式会社永原兼太郎商店社長　永原耕吉氏が拝殿全体にイ草の香しい上敷を奉納下さいました。

イ草の町に相応しい綺麗な上敷に参拝者も喜んでおります。

（奉納された上敷）

祭事暦

十月十八日（土）［午前十時］
秋季大祭【供膳祭】
十月十九日（日）［午前九時］
神幸祭
十一月中　七五三祈祷
十一月二十三日（日）［午後二時］
新穀感謝祭
一月二日（金）［午後二時］
年始祭
毎月一日［午前九時］月次祭